

令和元年度 第2回 行政改革推進委員会 会議録

| | |
|-----------|---|
| 開 催 日 時 | 令和元年9月9日（月曜日） 開会・午後1時30分 閉会・午後3時40分 |
| 開 催 場 所 | 上湧別コミュニティセンター 2階大会議室 |
| 出 席 委 員 等 | 北村会長、高桑職務代理者、菊地・小林・野田・森・宮澤委員 |
| 欠 席 委 員 等 | 高橋・松浦委員 |
| 職 員 | 福祉課：安藤課長、教育総務課：尾山課長、社会教育課：梅津課長、 建設課：岩佐課長、森主幹、総務課：濱本課長、 企画財政課：佐藤課長、因財政担当課長、西海谷主幹、近石主事 |
| 議 題 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 開 会 2. あいさつ 3. 確認事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 第1回 行政改革推進委員会会議録の確認について (2) 第1回 行政改革推進委員会における質問事項の回答について 4. 議 題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 行政評価について <ol style="list-style-type: none"> ①平成30年度 行政評価における意見等の対策等について ②令和元年度 行政（外部）評価の実施について 5. その他 <ol style="list-style-type: none"> (1) 次回の会議日程について 6. 閉 会 |
| 会 議 の 公 開 | 公開 |
| 傍 聴 人 の 数 | 0名 |
| 提 出 資 料 | <ol style="list-style-type: none"> (1) 令和元年度 第1回 行政改革推進委員会 会議録 (2) 令和元年度 行政（外部）評価説明資料（外部評価用） (3) 令和元年度 行政評価総括表 |

1. 開 会

佐藤課長が会議の開会を宣言し、委員の過半数以上が出席しているため、委員会の成立を確認した。

2. 会長あいさつ

北村会長) 台風15号により関東では90万戸以上の停電があり、非常に厳しい状況にあるようです。北海道においても昨年のブラックアウトで大変な思いをしたことを思い出しました。本日から担当課の課長にも出席いただいています。2時間と決められた時間の中ですけれども皆さんからの忌憚のないご意見をいただき、会議を進めて参りたいと思います。

3. 確認事項

(1) 第1回 行政改革推進委員会会議録の確認について

北村会長) 会議録の内容を確認したいと思います。

【意見及び質問】

※会議録の記載内容については、全員が了解した。

(2) 第1回 行政改革推進委員会における質問事項の回答について

西海谷主幹) 行政改革実施計画の中の住民税務課所管である収納業務体制の強化について収納率は前年度に比べてどうなっていますかとの質問についての回答をさせていただきます。

現年分の収納率は対前年比で-0.12%、滞納分では対前年比で-7.04%それぞれ下回っており、現年分と滞納分を合算した収納率は対前年比で-0.04%と前年度とほぼ変わらない収納率となっています。若干ではありますが下がってしまった要因としたしましては、近年は滞納処分を強化し、差し押さえの実施により収納率が上がっていましたが、これまでは比較的給与や口座からの差し押さえが可能な滞納者において滞納処分を行ってきており、差し押さえが困難な滞納者に絞られつつあります。また、借金の過払い金の回収により平成29年度に高額な納入があったため、平成29年度の収納率が高くなったことも要因であります。収納率向上に向けた今後の取組みとしては、1つ目として有効期限付きの健康保険証（短期保険証）の発行や催告の実施、2つ目として納税相談を強化させ滞納処分の実施。3つ目として滞納者の中で消費者金融等への過払い金発生者に対する弁護士への誘導などを促し、収納率向上を図っていくこととしています。また、町道民税の滞納者に対しては道税事務所と共同催告を実施するなど連携を強化し情報の共有などを図っていきます。

※回答についての意見なし。

4. 議 題

(1) 行政評価について

①平成30年度 行政評価における意見等の対策等について
議案に基づき、西海谷主幹より報告する。 ※意見なし

②令和元年度 行政（外部）評価の実施について

議案に基づき、外部評価の進め方について西海谷主幹より説明し、事業ごとに各担当課長から資料の説明を行った。

■高齢者生活福祉センター運営管理事業（福祉課・安藤課長説明）

【意見及び質問】

- 去年の段階できちんと説明をいただいていたら同じ質問をしなかった。
- 質問があれば次の会議には回答が出来るような体制が出来ると1年も疑問を長引かせる必要がなかったのではと思います。

【外部評価の判定】

- 2・現状維持とする。特に意見なし。

■小中学校パソコン等機器整備事業（教育総務課・尾山課長説明）

【意見及び質問】

- この事業では回線速度の問題まで対応しますか。
⇒ 現在回線環境が遅い地区は、芭露、富美の2箇所です。今後インターネットに繋がないと難しい時代は間違いなく来ると思います。教育委員会としてはその時々で速いサービスがあれば導入しますが、今後導入される5Gサービスでは結構なスピードが出ますので技術革新に期待を寄せながら検討したいと考えています。それも叶わないときには光ファイバーを町が自前で引くか、通信サービス会社から借り上げることも考えています。学校だけの問題ではありませんので、総務課情報担当と連携をとりながら地域住民の方々の回線速度も一緒に考えていきます。
- 現状のパソコンがデスクトップで驚きました。デスクトップパソコンではコンピュータ室まで行かないと使えないですし、今の環境を考えたら当然タブレットだと思うので、なるべく早くタブレットに替えてあげてほしいです。
⇒ 今後買うものはタブレットを考えております。ですがコンピュータ室が不要になるということは考えておらず、タブレット本体は自由に持ち運びが出来ますが、普段はコンピュータ室でクレイドルに設置して外付けのキーボードなどによりデスクトップと同じ感覚で使えるようにします。

【外部評価の判定】

- 2・現状維持とする。特に意見なし。

■湧別高等学校存続対策事業（教育総務課・尾山課長説明）

【意見及び質問】

- 存続対策事業があったから入学を決めた生徒に対して調査は行わないと説明があったが、遠軽から湧別高校に通っている生徒に湧別高校を選んだ理由を聞くと、保育所や小学校からずっと一緒なので違うところに行くのも楽しそうだなと思って選んだと聞いた。学力の問題ではなく湧別高校を選ぶ生徒もいて嬉しかった。中学生に対してPRする際に自分の就きたい職業、やりたい勉強が地元で出来るということをアピールしていただきたいと思います。
- 札幌に新陽高校という人気の私立高校があり、学力は低いようですが社会に出たら即戦力になるような教育をしているようです。学習についてはパソコンで先生と1対1で繋がり、生徒のレベルに合わせたレベルの勉強をしているようです。今後地方の高校は益々存続が難しくなるので、子どもが行きたい学校になるための知恵を取り入れながら進めてほしいと思います。
⇒ 貴重な情報ありがとうございます。情報収集します。
- 湧別高校の校長先生のお話を聞くと、1年生との話し合いの中でなかなか3年間をどういう形にしたいか、卒業後にどうなりたいかという意見にまとまりがない生徒がまだ多いようです。1年生のときに将来どうなりたいかが決まっていれば、学校としてはマンツーマンに近い形でその子を伸ばしてあげられると言っていました。将来を目指している子どもたちのための高校に徐々に近づいていくと感じています。
- 15歳の子どもが将来どうなりたいか、何を勉強したいかなどを考えることはなかなか難しいと思うので、中学の時代から色々なことを見たり経験したりしてこんな仕事や勉強があるということを、こういうところに住んでいるからこそたくさん見せてあげなければならない。そのためにインターネットがあり、先進的な学校ではどのような方法で子どもたちに興味を持たせているかも考えていかなければならないと思います。
- イノベーションスクールの具体的な活動とその予算について説明をお願いします。
⇒ 全国のイノベーションスクールに参加している高校生、教員、自治体職員が定期的に東京など首都圏に集まり、予算については魅力化の補助金の中から支出をしています。
- 高校生は参加したのでしょうか。
⇒ まだ高校生は参加していませんが、最終的なゴールとしては来年の8月に全国国際フォーラムという全国大会で、高校から生徒を数名選抜していただいて自分たちの取り組みについて発表をしてもらう予定をしています。これまでは、自治体職員、学校の先生が他校の先進的な事例を勉強し、自校に持ち帰って指導に役立てています。

- ニュージーランドの生徒との協働・交流とあるが、カナダとニュージーランドとの交流も尻すぼみになってきているので整合性が取れていない気がします。
- ⇒ 相互交流事業とは違った交流をしています。イノベーションスクールでの関わりについては行き来するものではなく、インターネットを介して外国の高校生と交流し国際感覚を磨きながらお互いの地域課題を解決するものになります。

【外部評価の判定】

- 3・改善とする。1次評価に加え、先進的な取組みをリサーチすること。

■スポーツ文化合宿誘致事業（社会教育課・梅津課長説明）

【意見及び質問】

- この事業において経済波及効果は測定していますか。
- ⇒ 測定はしていません。大人の合宿は少なく、学生の合宿が中心であり、町内の宿泊施設が少ないことに加え、学生の場合経費を抑えるために公共施設を貸してほしいとの要望もあり宿泊施設を使わないこともあるので、お金を落とすまでには至っていないという評価です。
- 民間の宿泊施設を使っていなくても、食事や人の移動、見学者や教室の参加者もいますので、ぜひ今後は数値化してほしい。活性化のために行っている事業なので盛り上げていけるような取組みが出来ればよいと思います。
- 文化センターさざ波をうまく活用しきれていないように感じます。網走市ではラグビーの合宿をしていますが、芝管理を業者が徹底して行っており、まちと企業が一体となった取組みが網走市の良さだと思います。湧別でも企業と連携して特徴を出してほしいと思います。
- 町として積極的に誘致活動は行っていますか。
- ⇒ 個別的な誘致活動は行っていません。体育施設については町民向けの施設でありレベルの高い団体となると天井の高さが足りないことや、交通の面でも不便がありますので課題として今後検討します。
- スポーツとなると施設の制限もありますが、文化団体となると教室などのスペースがあれば良いので、遊休の施設を貸し出してオホーツクの気候の良さをアピールした合宿の誘致も良いかと思います。積極的に文化団体にアクションを起こすことも検討してください。

【外部評価の判定】

- 2・現状維持とする。PR活動に力を入れていただきたい。

■少年柔道大会「上野カップ」（社会教育課・梅津課長説明）

- 大会に1000人近くの人に来ているにもかかわらず経済効果があまり見られないことが残念です。更に1歩踏み込んでまちに貢献できる機会にならないか

などと思います。

○ 方向性の説明の中で課題の多いことから制度のあり方の見直しが必要と記載しているが評価は現状維持で良いのか。

⇒ 制度としては現状維持としてやり方については検討します。

○ 柔道サークル設立の方向性についての説明の中で少年団本部を通して、指導者育成などの支援を継続したいとありましたが、柔道の少年団本部でしょうか。

⇒ 色々なスポーツを含めた少年団全体の団体です。少年団本部に補助金を出して団体育成を行っています。

○ ふるさと応援大使は何名いますか。

⇒ 柔道2名、音楽系4名の計6名です。

【外部評価の判定】

2・現状維持とする。特に意見なし。

5. その他

(1) 次回の会議日程について

協議の結果、9月25日(水)の午前9時30分から開催することとした。

6. 閉 会